

会報

秋

No.159

2012.10

社団法人北海道電業協会



目 次

環境に配慮した道有施設の整備北海道建設部建築局長 須 田 敏 則	1
法人職務執行者就任ご挨拶日本電設工業(株)北海道支店 執行役員支店長 野 本 徳 明 (株)北海道ジーエス・ユアササービス 代表取締役社長 三 原 剛(株)ユアテック北海道支社 支社長 平 塚 芳 明	2 2 3
平成24年度北海道の建築工事に係る合同研修会	4
北海道開発局営繕部と電気・空衛連絡協議会との意見交換会	5
平成24年度札幌市電気設備施工研修会	6
平成24年度登録電気工事基幹技能者特例講習会	7
技術系学校先生との現場見学・懇談会	8
技術系学校生徒との現場見学会	9
ーシリーズー 1 / 212だより ・健康と福祉のまち～奈井江町～奈井江町長 北 良 治	10～11
・人と大地が躍動し みんなで築く ふれあいの郷土～幕別町～幕別町長 岡 田 和 夫	12～13
1級（実地）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会	14
現場からこんにちは	15
市民創作「函館野外劇」見聞録	16
厚生委員会行事報告 平成24年度第3回ゴルフ部会コンペ成績	17
平成24年度野球部会 活動報告	18～19
平成24年度第1回・第2回開催ボウリング部会報告	20～21
ーシリーズー「私のいちおし」 北電力設備工事(株) 代表取締役社長 伏 木 淳	22
ーシリーズー「ビジネスマンはこれを読め！」 (株)久住書房 社長 久 住 邦 晴	23
業界だより、理事会・三役会・委員会報告	24～26
事務局日誌	27
編集後記	



環境に配慮した道有施設の整備

北海道建設部建築局長

須田 敏 則

日頃より、(社)北海道電業協会の皆様には、北海道の営繕行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月11日に発生した東日本大震災と原子力発電所の事故という未曾有の事態により、我が国の安全神話を根底から覆す「戦後最大の危機」に直面し、未だ復旧が進んでいない状況です。また、相次ぐ集中豪雨や台風などによる被害が全国にもたらされ、改めて社会資本の耐震化など、防災対策の重要性を再認識した一年となりました。

道内におきましても、景気の低迷や大震災の爪痕が道民の暮らしや経済に大きな影響をもたらす中、原発の安全性を巡る議論やTPP問題への対応など、かつてない複雑で難しい課題に直面いたしました。このような中、近年の本道の建設業界は、建設関連公共事業の削減などにより、大変厳しい経営環境が続いており、特に地域の皆様からは悲鳴にも似た声が寄せられています。

道といたしましては、技術と経営に努力されている企業の皆様が今後とも地域ニーズに対応できるよう、分離発注の促進や総合評価入札制度の導入など、様々な取り組みを引続き行っていくこととしており、今年度は4月から、共通費において従来の工事規模に加えて工期に応じた算定が行えるよう見直しを行ったところです。

道では財政悪化に伴い、平成14年に道有施設の長寿命化などを図ることを目的に『施設整備方針』を策定し、実質的に庁舎新築などに一定の歯止めをかけてきたところですが、昨年度からは旧有朋高校跡地での視覚障害教育センターの設計がスタートしているほか、本年度からは総務部が中

心となり本庁舎の耐震改修や札幌大の改築が本格的に動き出すなど、建築の分野においても少しずつ明るい話題が出てきております。

建築局では道有施設の整備にあたり『時の経過とともに価値を増す公共建築づくり』を基本理念とし、これまでも建築物の断熱性能の強化、省エネ設備等の導入による省エネルギー化など、環境負荷低減の取り組みを進めてきたところですが、北海道地球温暖化防止条例の制定を背景として、建築物のさらなる環境対策が強く求められておりますので、今年度『公共建築物ECO整備推進方針』を策定し、さらに温室効果ガスの排出削減や再生可能エネルギーの利用促進に取り組むことといたしました。

具体的には、ライフサイクル各段階の環境負荷低減を目指し、太陽光発電などの再生エネルギーやLED照明などの省エネ機器の導入検討、総合環境性能評価の導入などにより温暖化対策の推進に寄与しようとするものであり、その実現には高度な知識と技術力を有する電気設備業界をはじめとした皆様のご理解とご協力が不可欠であると考えております。

道民の皆様が安心して快適に過ごせる安全で環境にやさしい建物を造ることが、地域の活性化や業界の更なる発展につながって行くものと考えられますことから、社会活動のライフラインを担っている貴協会が、今後とも行政の良きパートナーとしてその役割を十分に果たされますことをお願い申し上げます。

最後に、貴協会のますますのご発展と会員皆様のご活躍を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



日本電設工業(株)
北海道支店 執行役員 支店長
野 本 徳 明

秋晴れの候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私はこの度、前支店長の金子康郎の後任として6月22日付で北海道支店長に就任しました野本徳明でございます。平素は当協会および会員の皆様には大変お世話になり心より御礼申し上げます。若輩ものでございますが、皆様のご指導、ご鞭撻を頂きながら協会ならびに業界の発展に尽くす所存でございますので、前任者同様よろしくお願ひ申し上げます。

私は、昭和49年に入社し、東京や関東近辺を中心に鉄道電気部門の現場および管理業務に従事し、北海道は初めての勤務となります。現在、道

内地図を基に地名等を勉強中であります。

弊社の紹介をいたしますと、昭和17年に鉄道の電化を推進する目的に鉄道電気工業株式会社として設立され、昭和24年に現在の社名に変更となりました。今年には創立70周年を迎えており、現在は鉄道電気工事、一般電気工事および情報通信工事等を中心に全国展開している総合設備工事企業であります。とくに鉄道電気工事では、在来線の他、地下鉄、新交通システム、モノレールおよび整備新幹線等数多くの実績がございます。

全国的な景気の低迷、そして北海道は官庁工事の減少、民間工事の抑制等、大変厳しい経済環境にあります。当協会の一員として北海道が更に発展し、業界の繁栄に微力でございますが努力する所存です。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄、ご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



(株)北海道ジーエス・ユアサ
サービス 代表取締役社長
三 原 剛

初秋の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、6月26日付けで前社長中川渉の後任として就任致しました三原剛でございます。平素より当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。

当社は昭和47年2月に創業、平成17年10月に社名を(株)北海道ジーエス・ユアササービスに改名すると共に、業務範囲・陣容も大きく一新しました。主に非常用電源、蓄電池設備関連を基幹業務とし、様々な社会インフラにおける安全機能の強化と保全に取り組む中で業務内容も拡大、電気設備工事に関する総合技術力を有する会社へと成長

致しました。現在は環境、クリーンエネルギーの担い手である蓄電池を含んだ設備工事等にも取り組んでおります。最近では市場動向が見えにくい状況ではありますが、前向きに取り組んでいきたいと思っております。

また、私個人のこととなりますが26年の東京勤務の後、九州で3年間単身赴任生活、そしてこちら北海道へも単身赴任で参りました。南から北への単身生活を謳歌しておりますが、初めての勤務地で戸惑うことも多くあります。公私共に皆様のご指導、ご鞭撻を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

最後になりますが、協会、業界の発展に力を尽くす所存でございますので、前任者同様宜しくお願ひ致します。また、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新任の挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



(株)ユアテック北海道支社
支社長

平塚 芳明

秋涼の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

す。

この度7月1日付けで前支社長及川敏男の後任として北海道支社長に就任致しました平塚芳明でございます。平素は当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。前任者同様よろしくお願い申し上げます。

当社は昭和19年10月に東北電気工事株式会社として創業し、以来総合設備業として、経営の多角化と技術・工法の向上などに不断の努力を重ねてまいりました。

平成3年4月には刻々と変化する社会環境を先取りし、総合設備業から一歩進め、総合設備エン

지니어リング企業としてさらなる発展をめざして、社名を「株式会社ユアテック」と改めました。札幌市には昭和46年12月に事業所を開設し、現在に至っております。

私個人のこととなりますが、入社以来宮城県内の各事業所に勤務し、県外は北海道が初めての赴任地となります。地名や方向、風土もまだよくわからない状況ですが、これからいろいろな面で新たな発見と出会いを楽しみにしております。

北海道を取り巻く経済環境は厳しい状況が続いておりますが、大きなポテンシャルを秘めた北海道がさらに躍進することを信じ、一歩、一歩着実に、努力して参りたいと考えております。

皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄、ご健勝を祈念して、新任の挨拶とさせていただきます。

平成24年度 北海道の建築工事に係る合同研修会



当協会と北海道電気工事業工業組合、(一社)北海道空調衛生工事業協会、北海道管工事業協同組合連合会との4団体共催で、平成24年7月2日(月)北海道電気会館において、北海道建設部建築局の幹部の方々にご出席をいただき「平成24年度北海道の建築工事に係る合同研修会」を開催。全道から4団体の役員等、約100名が出席した。

最初に主催者を代表して当協会の吉川会長から、業界を取り巻く厳しい環境を説明。今後の取り組みとして「地球環境問題への対応や技術力強化に努め、次代につながる公共設備の整備に尽力しなければならない」と挨拶された。

続いて、有澤貴博課長から「建築局では多様なニーズや地域特性に対応するとともに、建物の長寿命化や環境への配慮等を目標に取り組んでいる。厳しい経済情勢にあるが、今後とも快適な建物づくりを通じて地域の活性化と業界の発展のため、それぞれの分野で力を発揮していただきたい」と挨拶した。

引き続き、各事業担当者の方々から道の取組み状況など、資料に基づき説明された。

研修後の質疑応答では、業界側からあらかじめ提出された要望について同局は、分離発注の継続や工事量の確保などについて前向きな姿勢を示していただいた。また、質問事項のなかで、温室効果ガス削減と再生可能エネルギーの利用促進を目的として策定された「公共建築物ECO整備推進方針」について、詳しく解説いただいた。



ご挨拶 有澤貴博 設備・環境担当課長

研修会次第

1. 開会挨拶 (社)北海道電業協会
会長 吉川 照一
2. ご挨拶 北海道建設部建築局建築整備課
設備・環境担当課長 有澤 貴博 様
3. 研修内容
 - (1)総合評価方式について
計画管理課営繕企画G 主任 高橋 利幸 様
 - (2)入札制度について
計画管理課管理契約G 主査 桐谷 栄一 様
〃 主査 藤田 博康 様
 - (3)平成23年度工事評定結果について
計画管理課建築技術G 主査 島田 信喜 様
 - (4)質疑応答
4. 閉会挨拶 (一社)北海道空調衛生工事業協会
会長 池田 薫



北海道建設部幹部の皆さん

北海道開発局営繕部と電気・空衛連絡協議会との意見交換会



平成24年9月13日(木)15時から北海道電気会館において、当協会と(一社)北海道空調衛生工事業協会との共催(電気・空衛連絡協議会)で、北海道開発局営繕部内野井部長をはじめ幹部の方々のご出席をいただき意見交換会を実施した。当協会からは吉川会長をはじめ13名。空衛協会からは池田会長をはじめ12名が出席した。

営繕部からは、官庁施設の環境保全性基準の統一、総合評価方式、積算動向などについて説明された。協会からは工事量の確保、分離発注の継続など3項目の要望と、総合評価落札方式の見直しについての質問を提示し、それぞれに回答いただいた。

【議 題】

1. 平成24年度開発局営繕事業概要
2. 工事の入札契約について
 - ①平成25年からの資格審査に関して
 - ②総合評価落札方式の取り組みについて
3. 両協会からの要望事項
 - ①工事量の確保
 - ②分離発注のお願い
 - ③基幹技能者の評価・活用について
4. 両協会からの質問事項
 - ①総合評価落札方式の見直しについて
5. その他、質疑及び意見交換



ご挨拶 北海道開発局内野井宗哉営繕部長



北海道開発局幹部のみなさん

平成24年度 札幌市電気設備施工研修会



平成24年9月19日(水)午後1時30分から北海道電気会館において、当協会と(社)札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など約125名が参加した。今回で29回目となるこの研修会は、札幌市から担当者をお招きし、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明された。

冒頭、札幌電設業会の今野哲彦技術委員長から「ことしは原発停止の影響で、節電要請があった。われわれも最重要課題として節電に取り組んでいかなければならない」と挨拶された。

札幌市建築部の日當電気設備課長から、最近の話題として、本日開会されている定例市議会で工事関係の予算を計上することや、今夏の節電計画の実施報告があった。施工上の注意点としては安全対策の徹底を求め「事故が起きると工事成績が下がり、入札参加停止もある。未然に防ぐ気持ちを持って作業に当たってほしい」と呼びかけた。

続いて、札幌市財政局工事管理室の担当者から、2011年度の施行成績や評定要領の改正点、受注者自己評価制度について詳しく解説された。

続いて、各社が事前に提出していた質問事項に対する回答、検査結果に対しての報告、講評などがあった。

【研修内容】

1. 札幌市発注電気設備工事に関する講話



日當雅博 電気設備課長

2. 電気設備工事に関する留意事項および会員からの質問・要望に対する回答
3. 工事監理室から
 - ・会員からの質問・要望に対する回答
 - ・電気設備工事の成績評定結果
 - ・請負工事成績評定容量の改正点

【講師】

札幌市都市局建築部電気設備課

課長	日當 雅博 様
電気一係長	中村 範仁 様
電気二係長	太田 雅之 様

札幌市財政局管財部工事管理室

電気検査担当係長	山本 裕之 様
〃	堀江 誠 様

平成24年度 登録電気工事基幹技能者特例講習会



(一社) 日本電設工業協会北海道支部主催による登録電気工事基幹技能者特例講習会を、平成24年8月24日(金)北海道電気会館において開催。全道各地区から31名が受講した。

この講習会は、平成19年より以前に電気工事統括技士および電気工事基幹技能者の資格を取得した人が、平成21年度より実施される経営事項審査で加点評価されるための特例講習会で平成20年度から5年間実施され平成24年が最終年度となる。

(一社) 日本電設工業協会では、平成10年度から国土交通省が提唱する「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」を踏まえ、いち早く電気工事基幹技能者認定講習会を実施している。

平成19年度以前までの旧制度における認定者は全国で10,779名、このうち道内では428名。平成



開会挨拶 岡竹技術安全委員長

20年度からの新制度での認定者数は全国で6,012名、道内では321名となっている。

初めに、当協会の岡竹技術安全委員長から、特例講習会の開催経緯について説明。さらに

「全国の原発停止で自然エネルギー、省エネルギーなどの環境にやさしい分野が注目され、電気設備業界にとってはチャンスである。そこで、仕事の段取りや取りまとめなど高い能力を持った基幹技能者としての役割が重要となるので、本日の講習内容を現場で有効に反映させて欲しい」と挨拶された。

講習会では、当協会技術安全委員会のベテラン委員4名が講師となり、登録電気工事基幹技能者特例講習テキストに基づき講習プログラムに沿った講義が行われた。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (社)北海道電業協会技術安全委員会
技術安全委員長 岡竹 俊和
(株)きんでん北海道支社長
2. 建設産業の現状
登録基幹技能者制度の概要
関連法規
今野 正章氏
北海電気工事(株)電設工事部長代理
3. 基幹技能者の現場実務 1
吉崎 敏明氏
拓北電業(株)取締役営業本部長
4. 基幹技能者の現場実務 2
小川 恒明氏
協信電気工業(株)営業部長
5. 電気工事専門部門の現場管理
内山 優氏
(株)北弘電社技術部 担当部長

技術系学校先生との現場見学・懇談会



平成24年7月30日(月)当協会および(一社)日本電設工業会北海道支部共催による技術系学校の先生との現場見学・懇談会を開催した。

電業協会と技術系学校相互の現状認識の把握と業界への意見、要望を聞くため毎年行っている。今回は専門学校2校、高校3校から7名の先生が出席。協会からは中野副会長をはじめ8名が出席した。

今回の見学現場は、札幌市カーリング場新築電気設備工事で、この施設は、カーリングを札幌の新たなウィンタースポーツとして定着させ、将来的には札幌からオリンピック選手を輩出できるよう、カーリングの普及振興に積極的に取り組み、競技人口の拡大やカーリングを観戦する文化の定着を目的としている。公共施設としては全国で初めての通年型カーリング専用施設で、施設内容はカーリングシートを5シート、観客席は固定席208席と車いす席16席のほか多目的室やカフェ等を備えている。



当日は、カーリング場に隣接している月寒体育館の会議室に集合し、見学前に島津電設(株)廣田哲也現場代理人から工事概要の説明後、現場へ向かった。

見学会終了後、同会議室において懇談会を実施した。開会にあたり中野副会長から、最近の建設業界を取り巻く厳しい環境や団塊世代の大量退職といった現状を説明。「今後は地球温暖化に対応するため省エネルギー・新エネルギー需要や既存設備のリニューアルなどの急拡大が予想されるので、これら新たなビジネスチャンスに対応するため、人材確保や育成は業界として重要である。これからも優秀な人材を当協会に送り込んでいただきたい」と挨拶された。

懇談に入り、協会から主な事業内容を説明。続いて道内の技術系学校を対象に毎年調査している「平成24年3月卒業生の就職状況」及び「平成24年度技術安全基礎教育講習会」の実施結果を報告。さらに、今年6月に調査した「インターンシップ実施企業調査結果」についての報告と今年度の当協会会員企業の実施計画を説明した。

学校側からは「資格を持っていても、なかなか就職に結びつかず、電気科の生徒でありながら電気関係の仕事に就ける機会が少ない」「道内企業からの求人票が出るのが遅い」「就職は道内志向が強く、優秀な人材を道内に残したいが、道内企業の求人が少ないため道外企業に就職してしまう」などの意見要望があった。

当日の参加校、札幌科学技術専門学校、北海道能力開発大学校、滝川工業高等学校、小樽工業高等学校、帯広工業高等学校。

技術系学校生徒との現場見学会



平成24年8月3日(金)当協会および(社)日本電設工業会北海道支部共催による技術系学校生徒との現場見学会を開催した。当日の参加者は北海道工業大学、札幌科学技術専門学校、札幌工業高校の先生3名、学生9名が出席。協会からは加藤総務委員長をはじめ7名が出席した。

今回の見学現場は平成24年8月末に完成予定で建設中の札幌市カーリング場新築電気工事現場で、見学前に島津電設(株)廣田哲也現場代理人から工事概要の説明後、現場へ向かった。

当施設の特徴は、外断熱を採用し安定した温熱環境の確保に取り組んでいた。また、ホール内の照明は省エネ性を考慮しセラメタHバンクライトを使用し従来の水銀灯と比べ50%の省エネと1.5倍の長寿命化を図り、さらに冷暖房空調設備として地中熱ヒートポンプを導入するなど環境に配慮した設備となっていた。

最初に2階の観客席からカーリングホール全体を眺めながら当日の作業内容や施設の特色などの説明があった。当日は除湿作業中で管内の気温は15℃に保たれていて、肌寒いほどであった。当日はカーリングシート全体を塗装作業中のため立ち入ることは出来なかった。さらに、製氷作業に着手する前段としてカーリングシートのコンクリートを1日に1℃ずつ下げていく工程で進められていた。

次に建屋2階にある受変電設備へ向かった。8面体の屋外キュービクルと非常用発電設備はすでに搬入・据付されていた。最後に屋上の太陽光発電

設備の説明を受けて見学会を終了した。

午後からの懇談会では、事務局から事業内容などの概要説明があり、つづいて澤田技術安全副委員長から、資格取得試験などについて説明があった。

特に、国家試験の資格取得は自分のためになる事なので、積極的に取り組むように推奨した。

同行された先生からは、学校の授業では体験できない現場の最先端設備に触れる事ができて大変勉強になった。学生たちにとっては大変有意義なので今後も継続して欲しいと要望された。

生徒から提出されたレポートから「普段見る機会のないところを見ることができ良い経験ができた」「一般的に目に触れない所でも管理する重要性が感じ取れた」「現場の雰囲気味わうことができ、これから就職していくうえで貴重な経験になった」「電気は生活に欠かせないもので、それを管理する大切な仕事である」などの感想があった。





健康と福祉のまち～奈井江町～

奈井江町長 北 良 治



【まちの概要】

本町は、道央空知の中心部、石狩平野のやや北部に位置し、東は夕張山系で芦別市と、西は石狩川で浦臼町・新十津川町と境し、南は美唄市、北は砂川市と平坦で地味肥沃な農地で接しています。

交通は、JR函館本線と国道12号線が本町の中央を、東側山手には高速自動車道が南北に縦貫し、札幌市まで68km、旭川市まで68.8kmの距離で結ばれており、生活環境、農工生活消費流通、企業立地などの面でも恵まれています。

分村から50年にあたる平成6年を町では「福祉元年」とし、『おもいやり明日へ』をテーマとして保健・医療・福祉に重点をおき、健康と福祉のまちとして、この年から福祉の先進国・フィンランドハウスヤルビ町と友好都市を提携し相互派遣を行っています。

医療と福祉の先進地となるべく、町立病院の開放型共同型や老人総合福祉施設、高齢者生活福祉センター等を展開。また、介護保険の広域連合としては全国初の「空知中部広域連合」の中心となっており、豊かで文化的な暮らしやすいまちと

ホームページ <http://www.town.naie.hokkaido.jp> して着実に発展しています。

【ないえ産業まつり】

奈井江町の一大イベントであるこのお祭りは毎年8月に開催されます。1日目はビールパーティと花火大会。2日目は町内の農・商・工・福祉団体などが一同に参加して、様々な飲食物や各種コーナーが出店されました。大好評の農家による農産物の大安値市や企業の出店、町内の小中高校生で構成する「子ども会議」では東日本大震災の被災地への支援として、古本市が設けられ収益金を被災地へ寄付しました。今年は8月18日、19日に開催され、2日間で延べ2,800人もの人で賑わいました。



ないえ産業まつり

【にわ山森林自然公園】

2箇所の展望台が設けられ、奈井江の街並みや樺戸連山が眺望でき、最高の景観が楽しめます。春には1,800本のエゾヤマザクラなどが、桜のトンネルを作ります。

また、センターハウスでは水洗トイレや炊事コーナーの他、障がい者用のトイレも整備しており、青空の下で食事ができるよう、バーベキューテーブルが4箇所設置され、利用者が自然を満喫できる観光名所のひとつです。



にわ山の桜（5月）

【道の駅ハウスヤルビ奈井江】

日本一長い直線道路国道12号線の、ほぼ中間地点に位置する道の駅「ハウスヤルビ奈井江」は、友好都市提携をしているハウスヤルビ町（フィンランド共和国）からとったもの。ログハウス調の落ち着いた雰囲気建物の建物です。食堂や喫茶店や地元特産品の販売スペースもあり、どちらもログハウスの木のいい香りに包まれて楽しむことができます。



道の駅「ハウスヤルビ奈井江」



実りの秋（9月）

【大地の恵み】

本州の有名なお米に負けない良食味米として知られる期待のブランド米・ゆめぴりか。奈井江町では生産者が特別栽培（低農薬・低化学肥料による栽培方法）や低タンパクに取り組み、3年連続全道でもトップクラスの好成績での出荷を果たしています。

お米と並ぶ奈井江町の特産品の「北海キングメロン」。出荷基準糖度を13度以上としたこだわりの赤肉メロンは、熟しても果肉がしっかりしていて、歯ごたえと甘さが楽しめる自慢の一品です。



北海キングメロン



人と大地が躍動し みんなで築く ふれあいの郷土～幕別町～

幕別町長 岡田和夫



〒089-0692 中川郡幕別町本町130番地
TEL 0155-54-2111 FAX 0155-54-3727
<http://town.makubetsu.lg.jp/>

幕別町は、十勝平野の中央部に位置し、その肥沃な土壌と気候に恵まれた自然環境の中、基幹産業である農業を中心に各産業がバランスよく発展する可能性と魅力に溢れるまちです。

パークゴルフ発祥の地として知られる幕別町は、平成18年2月に忠類村と合併し、ナウマン象の化石骨が発掘された地という魅力を加え、新たな一歩を踏み出しました。

農業では、レタスやゆり根、長いもの産地として知られていますが、毛なし長いもの「和稔じょ」が商品化され、その外見の良さと味の良さから注目されている農産物の一つです。

またスポーツでは、「パークゴルフ」発祥の地として全国的に有名で、海外にもコースができるなど、世界的な広がりを見せています。

北京、ロンドンと2大会連続出場の陸上女子短距離の福島千里選手、同じく2大会連続出場のマウンテンバイク競技に山本幸平選手、バンクーバーオリンピックに、冬季五輪史上初となる中学生での出場を果たした高木美帆選手のふるさともあります。

【パークゴルフ】

人と自然と親しむコミュニティスポーツ

クラブ1本とボールが1つあれば、お年寄りから子どもまでだれでも気軽に楽しめるスポーツがパークゴルフです。

ルールも簡単で親しみやすく、なおかつゴルフの要素も反映されているので初心者からベテランまで楽しみ方の幅がとても広いのも特徴です。

樹木や適度な起伏のある公園や河川敷、遊休地などを利用して造られたコースの中を歩きながら、ゲームに熱中しているうちに、心も身体もリフレッシュできます。競技志向というよりも、コミュニケーションに重点を置いたスポーツであるため、昭和58年に誕生して以来、愛好者の数はどんどん増えて、今では124万人を超えるほどになりました。(日本パークゴルフ協会調べ)



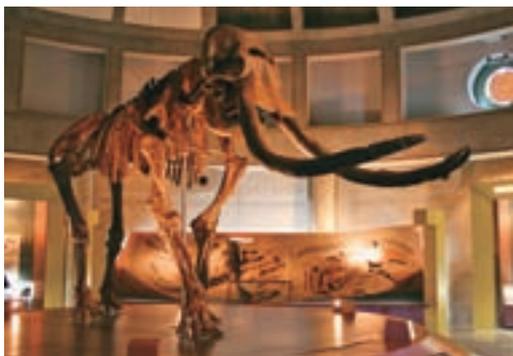
【ナウマン象】

太古のロマン

昭和47年、忠類晩成の農道工事現場で偶然に発見されたナウマン象の化石は、発見から3度の発掘調査を行い、全骨格の70～80%にあたる47個の化石骨が発掘されました。

ほぼ1頭分の化石骨が見つかるのはとてもめずらしく、忠類で発掘されたナウマン象化石の復元骨格は22体複製され、日本のほか、海外の博物館にも展示されています。

ナウマン象化石が発掘された現地には、記念碑のほか発掘の際の産状を模型にしたパネルなどが設置されています。



【丸山展望台】

海賊が丸山に財宝を埋めた！

丸山は、幕末の頃に海賊が財宝や砂金を隠したという埋蔵金伝説があります。頂上にある展望台では、広々とした北海道のイメージそのものの雄大な風景を気軽に楽しむことができます。



【明野ヶ丘公園】

町の憩いのスポット

開基100年を記念してつくられたシンボルとし



ての展望施設「ピラ・リ」。そこからの眺めはとても美しく、幕別の市街地や、畑作風景、日高山脈を一望できます。公園は25万平方メートルの広大な敷地を誇りパークゴルフ場やアスレチックが充実しています。ファミリーをはじめとしたさまざまな人でにぎわうスポットとなっています。

【道の駅 忠類】

お立ち寄りスポット

買い物に食事、観光情報、道路情報など、南十勝の特産品や情報はここで。パン工房も併設しているので、作り立てのオリジナルパンを販売。地元の方々による手作りの品や特産物である「ゆり根」を使ったさまざまな加工品も充実しています。



【イベント】

まくべつ夏フェスタ

ビールパーティーや幕別高校の仮装ダンスパフォーマンス、抽選会など内容盛りだくさん！夏の夜空を彩る花火が鮮やかにフィナーレを飾ります。

忠類どんとこいむら祭り

忠類地区で行われている収穫祭。牛の丸焼きの販売をはじめ食用ユリ根やジャガイモ、ゴボウなどの地場農産物の販売が行われます。羊毛加工実演会、豆のすくい取りも楽しめます。

忠類ナウマン全道そり大会

ダンボール製のそりによって、スピードやパフォーマンスを競うそり大会。

毎年、奇抜なそりが登場し会場を盛り上げてくれます。大人も子どもも気軽に楽しめるイベントです。



1級（実地）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会



平成24年9月3日(月)札幌市北区のセントラル札幌北ビルにおいて(一社)日本電設工業協会北海道支部と(財)地域開発研究所との共催による受験準備講習会を開催した。

この日の講習会には、学科試験に合格した84名が受講し、施工管理技士の資格取得に向けて、講師が説明する過去の出題傾向から、実際に記述するうえでの注意事項について勉強した。

本試験は10月21日(日)に行われ、合格発表は来年2月1日の予定。同試験に合格すると、1級電気工事施工管理技士の資格が得られ、建設業法に定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く監理技術者として認められ、建設業法に基づく経営事項審査において、資格者一人あたり5点が配点され、公共工事を受注する際の企業の技術力として評価されるなど重要な資格。

受講生は、事前に購入していた「実地試験問題解説集」と、当日配布された過去の出題傾向と問題項目の資料をもとに熱のこもった講義が行われた。講師から、昨年の合格率は66.3%（1級実地全国平均）で、年々試験が難しくなっている現状説明があり、特に配点が高い施工経験記述では、具体的な現場経験の有無が問われるので、本人が実際に経験した工事をそのまま書くこと。文章が不得手な人は箇条書きがよい。などのアドバイスがあった。また、今年度の問題を予測するのは難しいが、労働災害、工程管理、施工管理、に関する解答を予め準備しておくこと。文章の構成も主語、述語の基本的な使い方など、日頃から簡潔にまとめるよう訓練が必要である。などを注意喚起し一日の講習会を終了した。

講習プログラム

時間	科目	講師
9:20~12:10	電気設備全般 法規	(元)日本電設工業(株) 常務取締役 山端 良幸
12:10~13:00	昼 休 み	
13:00~16:40	施工管理 施工経験記述指導	大成建設株式会社 設備次長 小林 由嗣

現場からこんにちは



工事名称：一般国道229号 余市町 梅川トンネル
非常警報設備設置外一連工事

工事場所：余市郡余市町梅川

工期：平成24年3月9日～平成25年2月15日

発注者：国土交通省北海道開発局小樽開発建設部

施工業者：協信電気工業株式会社

【工事概要】

梅川トンネル：L=372m

- ・受変電設備
- ・トンネル照明設備（照明器具107台、自動調光）
- ・トンネル非常警報設備（制御装置、副制御装置、押ボタン式通報装置、警報表示板）
- ・トンネル無線補助設備
- ・ラジオ再放送設備
- ・電気室新築
- ・CCTV設備
- ・道路照明設備
- ・光ケーブル移設



トンネル坑口（古平側）

今回、「一般国道229号 余市町 梅川トンネル非常警報設備設置外一連工事」の現場に伺い、協信電気工業株式会社主任技術者の宮嶋進一さんと現場代理人の本間豊毅さんに取材をさせていただきました。

この梅川トンネルは、一般国道229号 積丹防災事業（余市町滝の潤工区～古平町丸山厚苦工区～積丹調余別工区～積丹町珊内工区～神恵内村・共和町析石工区を結ぶ延長23.5km）において、道路防災点検要対策箇所を解消し、安全な道路交

通を確保するために余市町にある既存の梅川トンネル（L=295m）に代わり建設されている新トンネルです。既存のトンネルよりも道路幅が約2.5m広がるので、より一層円滑な通行が期待されます。



トンネル本体は既に完成しており、現在、トンネル前後に付帯する排水・護岸改良工事や、トンネル内のコンクリート舗装工事が行われています。現場に伺った8月末時点での当該工事の進捗状況は約14%で、現在、トンネル坑内の各種施工の完了を待って、9月から照明器具の取付・非常警報設備設置・配管配線工事等を実施する予定です。坑口付近は地中管路及びハンドホールの設置が完了しており、今後、坑外の情報設備や電気室などの施工を進め10月頃に受電をし、試験調整を行う予定です。

トンネル付帯設備工事なので、別途工事との取りあいや工程調整に特に配慮が必要です。現場では高所作業での安全対策に十分注意し、作業員への周知徹底を厳に行い施工しております。

最後にお二人より『私たちが携わる事の出来たこのトンネルが、皆様の安全で快適な通行のお役に立てる様、共用開始まで無事故無災害はもちろん、精一杯施工いたします。』という頼もしい言葉を頂き今回の現場を後にいたしました。

取材 広報委員 菊地 大・松岡 孝夫



左：宮嶋進一さん 右：本間豊毅さん

市民創作「函館野外劇」見聞録



函館にて計9年勤務をさせていただいたご縁で、2年前、函館の地を去るに当たり、地元の友人から「函館観光大使」と「函館野外劇大使」就任?を要請され、微力ながら函館観光のPRを務めさせていただいております。

函館野外劇は特別史跡「五稜郭跡」を舞台にスタッフからキャストまで全て市民ボランティアの手により繰り広げられている市民創作劇で、函館の夏の夜を彩る歴史スペクタクルとして、函館市民のみならず、国内外から訪れる多くの観光客の方々に感動を与え、今では全国的にも高い評価を得ております。

開催から25年目を迎える市民創作「函館野外劇」を「まちづくり事業」の一環として広報委員会で取り上げる機会をいただき、厚く御礼申し上げます。7月27日(金)は取材を兼ねて広報委員会の委員を中心に10名の参加となりました。2～3名の方は過去にもご覧になったことがあるとのことでしたが、テレビ画面、さらには映画館のスクリーンを遙かに凌ぐ大パノラマでの熱演に一同感嘆の声をあげました。



私はこれで10数回の観賞ですが、何度見ても良いもので、フィナーレでペンライトを片手に唄う「星のまち函館」(新井満氏作詞作曲)には改めて感動いたしました。

「函館野外劇」を観賞後、函館電設業協会平沼会長も加わっての懇談会となり、道南の業界事情や地場経済活性化への取り組みなども話題となりました。



このような野外劇をはじめ、「文化・伝統の醸成」が地域を、北海道を元気にする基となり、そのことが翻って地域経済の発展、更には業界の発展に繋がるものとも考えられます。「灯台下暗し」という諺がありますけれども、北海道に於いて、まだまだ私たちには知らない事が多い。地元北海道を良く理解し、楽しむことから裾野を広げてまいることが何より大切です。今後、広報委員会は各地にお邪魔し、各地の芳しい香りに感動してまいりたいと思います。

広報委員会 副委員長
(株)ドウデン 小笠原憲生

厚生委員会行事報告

平成24年度第3回ゴルフ部会コンペ成績



第3回 表彰式

第3回例会 平成24年7月26日(木) 札幌エルムCC 参加者24名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	荒川 正一	札幌日信	44	39	83	18	65
準優勝	桜庭 謙次	北電力設備	44	37	81	13	68
3位	三井 尚	北明電気	45	45	90	19	71
4位	山口 邦治	山口電気	48	47	95	24	71
5位	松原 一朗	北明電気	38	38	76	4	72
6位	石田 啓二	月寒製作所	42	39	81	9	72
7位	加藤 定義	北盛電設	49	47	96	23	73
8位	山口 勉	山口電気	45	47	92	18	74
9位	坂口 興次	ドウデン	44	48	92	18	74
10位	滝沢 英美	サンテック	50	51	101	26	75

(特別賞)

B	G	松原 一朗	(北明電気)
大	賞	木村 賢史	(道タツヲ)
小	賞	枝並 秀喜	(電業協会)
B	B	渡辺 広史	(東光電気)
N	P	荒川 正一	(札幌日信)
N	P	石田 啓二	(月寒製作所)
N	P	山口 邦治	(山口電気)
N	P	加藤 定義	(北盛電設)
N	P	山口 勉	(山口電気)
N	P	坂口 興次	(ドウデン)
N	P	吉崎 俊明	(拓北電業)
N	P	渡辺 修	(三新)



第3回優勝者 荒川さん

平成24年度 野球部会活動報告



会員の皆様いつもお世話になっております。日頃より、野球部会の活動にご協力をいただきまして有難うございます。

さて本年度の会社対抗ソフトボール大会は、8月30日(木)「つど～む」にて開催致いたしました。

全5チーム（北弘電社、北海電気工事、ドウデン、橋本電気工事、企業体チーム）の参加となりました。今大会は、だまっいても汗の出るような暑さのなか全チームともファインプレーあり、珍プレーありの白熱した熱戦を繰り広げいただきました。その中で、安定したチーム力を武器に勝ち進み、優勝に輝いたのは北弘電社チームでした。なんと5連覇を達成です、強い、おめでとうございます。

準優勝はドウデンチーム。こちらも安定した強さで決勝まで進み、先制はしたものの、惜しくも



両軍挨拶



開会挨拶 萩本哲夫（厚生委員長）

敗れ残念ではありましたが準優勝でした。3位は企業体チーム（浅海、でんこう、北関、北盛）、4位は橋本電気チームとなり本大会を無事終えました。

参加頂いた全チームのみなさんお疲れさまでした、来年も参加頂き今大会以上の素晴らしいプレーを期待しております。

又、北弘電社チームの連覇をとめる新たな強豪チームの参加はもちろん、1社から1、2名でも企業体チームとして活躍できますので、個人の参加もお待ちしております。

最後に今大会も皆様のご協力によりケガもなく無事終えることができました事に、幹事一同深く感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

野球部会長 森崎 亨一

電業協会ソフトボール大会 5連覇達成!!

8月30日(木)に「つど～む」で行われました電業協会ソフトボール大会で我が北弘電社は、悲願の5連覇達成することができました。5連覇への道のりはとても険しいものでした。

ここで、我が北弘電社ソフトボールチームを簡単に紹介します。

出場選手は毎年12～13人で前年度の成績や走力と守備力（打撃力がなくてもOK）を重視して人選されます。野球経験者が多く、若手・中年・シニアがうまく融合しているチームです。なんといっても、チームの売りは、他を寄せ付けない“守備力”です。この“守備力”なくしては連覇はできなかったと思います。

もう一つ5連覇できた勝因は、3連覇を達成したときに作ったユニホームの力が大きいです。お揃いのユニホームで試合に臨むことで、不思議と

団結力が生まれます。

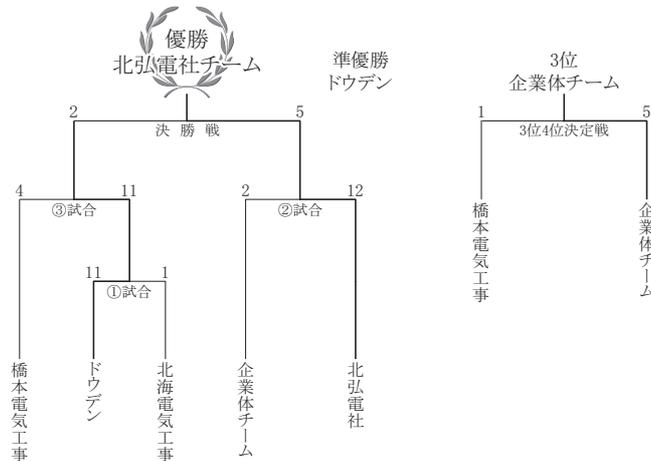
今年は、「つど～む」に北弘電社応援団が来てくれましたが、決勝戦は私も含め応援団のプレッシャーで思うようなプレーができなく、最後の打者をショートゴロに打ち取ったときは喜びよりもプレッシャーから解き放たれた解放感の方が強かった事を今でも鮮明に覚えています。

私自身、入社から毎年北弘電社の1番バッターを任してもらい5連覇達成できたことは喜びと誇りに満ちあふれています。今後、6・7…連覇を目指していきたいです。

皆様、電業協会ソフトボール大会は1年に1回です。是非来年は、つど～むに足を運んで選手の真剣なプレーを観に来て下さい。

株式会社 北弘電社 十日市 樹

成績表



優勝 北弘電社チーム



準優勝 ドウデンチーム

平成24年度第1回・第2回開催ボウリング部会報告



第1回大会 スタート前

7月13日(金)に平成24年度第1回ボウリング部会、8月24日(金)に第2回ボウリング部会が行なわれました。

第1回優勝者は北明電気工業(株)の高橋さん。高橋さんは優勝かブービーメーカーかと言うくらい調子の波が激しいタイプで、調子の良さとハンデが合わさってダントツの優勝でした。

第2回優勝者は三共電気工業(株)の伊藤さん。スコアは至って普通でしたがハンデ66のパワーで見事優勝。表彰式ではブーイングが巻き起こる程でした。

さて、今回はボウリング用語で個人的に聞き慣れない物を調べてみました。

ご存じない物も多数あるかと思いますが、お付き合い下さい。

・ブルックリン

利き手とは逆側のポケット(右投げなら1・2ピン間 左投げなら1・3ピン間)にボウルが入る事。これでストライクを取っても余り好ましいとはされないそうです。

・バックアップ

球筋の一つで、フックとは逆に曲がる投げ方。球威を削ぐ投げ方と言われ、一部を除き悪い投げ方とされています。

・ファウンデーション

第9フレームでストライクを取る事。ここでストライクを取ると大逆転があり得るので、非常に重要。語源は(逆転の)下地・基礎 と言う意味から来ています。

・パンチアウト

第10フレームで全てストライクを出す事。2回まではそこそこ行けますが、3回目はプレッシャーでミスする事が多いですね。

・パワーハウス

ストライクを取った時に10本のピンが全て後部ピットまで落ち、レーンに何も残らない状態。又はピンが壊れるかと思う程の強い投球。この投げ方、我が部会でも良く見られます。

今回のボウリング豆知識、いかがでしたか、家族や友人とボウリングに行った時にでも、このネタをドヤ顔で披露してみてください。

次回のボウリング部会は10月12日(金)に開催されます。

今年最後のボウリング部会ですので、御多忙かとは思いますが何卒御参加下さい。

幹事一同、心よりお待ちしております。

ボウリング部会幹事

藤井 大樹(株でんこう) 記

平成24年度第1回
北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成24年7月13日開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンデ	トータル	会社名
優	高橋 健児	161	178	48	435	北明電気工業(株)
準	十日市 樹	154	118	38	348	(株)北弘電社
1	鈴木 暁彦	122	146	32	332	拓北電業(株)
2	藤井 大樹	128	114	45	332	(株)でんこう
3	畑 澄人	126	130	35	326	北海道タツワ電気(株)
4	伊藤 寿教	99	82	66	313	三共電気工業(株)
5	大塚 雅史	88	142	40	310	北盛電設(株)
6	田中 裕司	141	108	30	309	末廣屋電機(株)
7	新名 久弥	134	126	23	306	(株)ドウデン
8	本間 美則	116	123	32	303	拓北電業(株)
9	清水 希予志	134	80	41	296	北明電気(株)
10	尾形 武志	143	123	12	290	(株)ドウデン
(ハイゲーム賞) 178ピン		高橋 健児		北明電気工業(株)		
(大波賞) 54ピン		大塚 雅史		北盛電設(株)		
(小波賞) 7ピン		本間 美則		拓北電業(株)		
(ラッキー賞) 7位		新名 久弥		(株)ドウデン		
(ラッキー賞) 13位		細野 隆平		橋本電気工事(株)		
(飛び賞) 10位		尾形 武志		(株)ドウデン		
(飛び賞) 15位		長谷川政幸		北海道タツワ電気(株)		
(ブービー賞)		森崎 亨一		北盛電設(株)		
(ブービーメーカー賞)		池内 宏行		北明電気工業(株)		

平成24年度第2回
北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成24年8月24日開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンデ	トータル	会社名
優	伊藤 寿教	126	105	66	363	三共電気工業(株)
準	内川 勝哉	169	139	25	358	(株)北弘電社
1	大塚 雅史	119	147	40	346	北盛電設(株)
2	十日市 樹	133	162	18	331	(株)北弘電社
3	最上 孝雄	128	155	23	329	北海電気工事(株)
4	藤井 貴史	149	155	10	324	北海電気工事(株)
5	尾形 武志	131	145	24	324	(株)ドウデン
6	小林 勇治	131	138	20	309	三共電気工業(株)
7	森崎 亨一	124	137	20	301	北盛電設(株)
8	内田 勝久	108	98	47	300	北海電気工事(株)
9	小原木 正弘	111	147	17	292	弘和電気(株)
10	木村 賢史	118	109	31	289	北海道タツワ電気(株)
(ハイゲーム賞) 169ピン		内川 勝哉		(株)北弘電社		
(大波賞) 36ピン		小原木正弘		弘和電気(株)		
(小波賞) 6ピン		藤井 貴史		北海電気工事(株)		
(小波賞) 6ピン		大塚公仁子		拓北電業(株)		
(ラッキー賞) 8位		内田 勝久		北海電気工事(株)		
(飛び賞) 5位		尾形 武志		(株)ドウデン		
(飛び賞) 10位		木村 賢史		北海道タツワ電気(株)		
(ブービー賞)		藤井 大樹		(株)でんこう		
(ブービーメーカー賞)		畑 澄人		北海道タツワ電気(株)		



第1回優勝者 高橋さん



第2回優勝者 伊藤さん

～シリーズ～ 「私のいちおし」

北電力設備工事(株)

代表取締役社長 伏木 淳

「私のいちおし」の第3回目の今回は、ちゃんこ鍋のお店を紹介いたします。お店は、「相撲茶屋 恵大苑（けいたいえん）」という名前で、グランドホテル南隣の札幌ノースプラザ（駅前地下通路に直結したビル）の地下にあります。店主の竹澤哲郎さんは、私と同一歳ですが、第52代横綱北の富士（美幌出身で幕内優勝10回、親方業を経て現在はNHK解説者）の甥に当たる方です。

竹澤さんとは、10年ほど前に、ある若手経営者の勉強会にてご一緒しましたが、それ以来、そのグループでの呑み会や、私が幹事になった呑み会などでも、何度か利用させていただいています。

特筆すべきは、何と言っても「鶏ガラ」の秘伝スープです。毎日15時間かけて、火加減や水加減に細心の注意を払いながら、野菜等のエキスも加え、何度も調整します。そして、まろみ、コクのある黄金色のスープが完成するとのことでした。



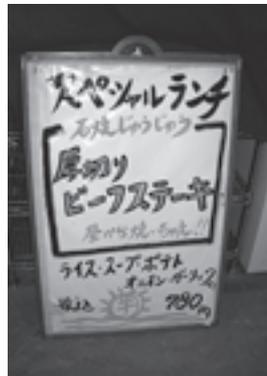
鍋を囲んで

宴会コースは、昨今の働き手の懐具合も考えて、なんと、「呑み放題2500円コース」から用意されています！この値段で本格ちゃんこを味わえるのは大変お得です。また、500円きざみで6000円コースまで、様々な高級具材も入ったコースがあるそうです。



伏木社長と店主の竹澤さん

また、昼時にはランチもやっています。特に駅前地下通路が出来てからは、ビジネスマンやOLの人達で賑わっているようです。鶏ガラスープを使ったラーメンや、ステーキ定食などが700～800円くらいで味わえます。



ランチセット

この先、秋から冬にかけて、鍋ものが恋しくなる季節になってきます。どうぞ、精力減退を防ぐのにも役に立つ「ちゃんこ鍋」を試していただければ幸いです。

店 名 「相撲茶屋 ^{けいたいえん} 恵大苑」

住 所 札幌市中央区北1条西4丁目
札幌ノースプラザ地下

営業時間 11時30分～23時00分

電 話 (011) 219-1711

H P www.chanko.info

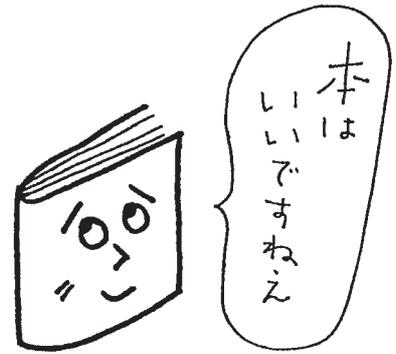
次回の「私のいちおし」は

東邦電電気工業(株)

営業G マネージャー 和田 隆幸さん



ビジネスマンは これを読め！



(株)久住書房 社長 久住邦晴

「なぜだ?!売れない文庫本」をはじめ、全国の書店に波及した「本屋のオヤジのおせっかい、中学生はこれを読め！」など独創的な企画で注目を集める、くすみ書房社長の久住邦晴氏（北海道書店商業組合理事長）おすすめの一冊をご紹介します。

「きみがモテれば、社会は変わる。」



うまく生きても、
つまんねえかも…

著者：宮台 真司
出版社：イースト・プレス
定価：1,260円

ずっと疑問だったことがある。日本は物質的にこれほど豊かで、治安も良く、自然にも恵まれているのに、なぜ毎年3万人以上が自殺し（世界3位、先進国の中ではダントツ）孤独死、無縁死が増加し、通り魔事件やいじめが後を絶たないのか、なんとなくわかるようで、ちゃんとわからなかった。

その疑問に首都大学の宮台教授が答えてくれた。「日本人は個人の幸せを支えるべき“社会”を徹底的に犠牲にして、とことんまで働かせ幸せをけずり取ってきた」からだ。

幸せを支えるべき社会とは、子育て、家庭、地域、社会参加、政治の事だという。なるほど、確

かに我々オヤジ共は子育ては奥さん任せ、家庭は顧みず、町内会とか社会運動は考えたこともなかったなあ。ただただ経済が成長すれば、すべてはうまくいくと信じていた。

でも、経済を回しながら社会も回す工夫もあるという。それは、スローフードという発想で、日本では誤解されているけど、本来は早い、うまい、安いもいいけど、それによって失うものに敏感であろうという社会的運動のことらしい。すなわち地元の商業、産業、文化を守ろう、そのためには多少の不便、コストは我慢するということなのだ。確かに日本ではコンビニが爆発的に増え、地元の商店街は消えていった。

どうも日本と欧米は考え方が違うらしい。「引受けて考える」欧米に対し、日本は「任せて文句を言う」、すべてを人任せにし、自分達はひたすら働いてきたというのだ。

何か悲しくなってきた。それじゃどうすればいいの宮台先生。

はい、第一に「依存から自立へ」そして次に「いいことをしようじゃないか」と思うような社会を作っていこう。“うまく”生きるのではなく“まとも”に生きるということ。そして子供たちに「勉強ができるだけのいい子になるな、いろいろな経験をして自分だけではなく他人も幸せにできる力をもとう」という。これからは人を幸せにする人でないともてませんよ。だから「きみがモテれば、社会は変わる」ということなのだ。

中高生向けに書かれた本だけど、大人にこそ読んで欲しい一冊です。

業界だより

○会員代表者の変更

・日本電設工業(株)北海道支店

平成24年6月22日付

(新) 執行役員支店長 野本 徳明

(旧) 〃 金子 康郎

・(株)ユアテック

平成24年7月1日付

(新) 北海道支社長 平塚 芳明

(旧) 〃 及川 敏男

○退 会

・北都電機(株)

平成24年6月23日付

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成24年8月24日(金) 12:00~13:30

第3回議題

【協議事項】

1. 役員会の日程(案)について
2. 平成24年度経営者懇談会開催要領について
(開催日変更)
3. 北海道開発局営繕部と電気・空衛協会との意見交換会の開催について

【報告事項】

1. 会員代表者の変更について

2. 会員の退会について

3. 第244回電設協政策委員会の概要報告について

4. 平成24年度会員大会の開催について

5. 本部・支部事務連絡会議の概要報告について

6. 平成24年度登録電気工事基幹技能者特例講習会の開催について

7. 技術系学校先生・生徒との現場見学・懇談会の概要について

8. 平成24年度会員調査への協力依頼について

9. 平成24年8月~9月行事予定について

10. その他 意見交換

|| 三 役 会

◇平成24年 7月 9日(月) 12:00~13:30

第4回議題

1. 経営者懇談会の日程変更
2. 各委員会の平成24年度実施計画及び委員構成
3. 平成24年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の記念事業について
4. 建設業における構造改善推進懇談会の開催
5. 技術系学校先生等との電気設備見学会及び懇談会の開催
6. 平成24年度北海道の建築工事に係る合同研修会の開催報告
7. 会社代表者、法人職務執行者等の変更
8. 平成24年 7月~ 8月行事予定
9. その他意見交換

◇平成24年 8月 6日(月) 12:00~13:30

第5回議題

1. 平成25年度役員会の日程(案)
2. 平成24年度会員大会の開催
3. 開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会の開催
4. 会員代表者の変更
5. 会員の退会について
6. 第244回電設協政策委員会の概要報告
7. 本部・支部事務連絡会議の概要報告
8. 平成24年度登録電気工事基幹技能者特例講習会の開催
9. 技術系学校先生・生徒との現場見学及び懇談会の概要報告
10. 平成24年度会員調査への協力
11. 平成24年度会員調査への協力依頼
12. 平成24年 8月~ 9月行事予定
13. その他意見交換

◇平成24年 9月10日(月) 12:00~13:30

第6回議題

1. 本部第239回政策委員会の報告
2. 北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換会
3. 平成24年度経営者懇談会・セミナー開催要領(案)
4. 「公共建築の日」フェスティバル2012inモエレのイベントの協力依頼
5. 平成24年度登録電気工事基幹技能者特例講習会の開催結果
6. 平成24年 9月~10月行事予定
7. その他意見交換

経営委員会

◇平成24年 7月19日(木) 12:00~13:00

第2回議題 (議長:水口副委員長)

1. 第1回議事録(案)の承認
2. 電設協第244回政策委員会開催概要
3. 平成24年度北海道の建築工事に係る合同研修会の開催概要
4. 社会保険未加入対策推進北海道地方協議会の開催
5. 平成24年度分離発注状況調査報告
6. 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会の開催
7. その他意見交換

◇平成24年 9月21日(金) 12:00~13:30

第3回議題 (議長:橋本副委員長)

1. 第2回議事録(案)の承認
2. 電設協第245回政策委員会開催概要
3. 平成24年度北海道の建築工事に係る意見交換会開催概要
4. 北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換会
5. 分離発注のための陳情要請活動
6. 経営者懇談会・セミナーの開催
7. その他意見交換

広報委員会

◇平成24年 9月21日(金) 15:00~17:00

第2回議題

1. 新春特集
2. 会報「冬号」編集方針
3. 会報「秋号」校正
4. その他意見交換

事務局日誌

7月2日(月)・北海道と電気関係4団体との建築工
事に関わる合同研修会

(電気会館大ホール)

9日(月)・第4回三役会議

13日(金)・本部244回政策委員会

(東京) 山口副会長

・第1回ボウリング部会

スガイノルベサ

19日(木)・第2回経営委員会

20日(金)・本部、支部事務局長会議

(東京) 小川専務理事

25日(水)・本部常任理事会(東京)

吉川支部長

26日(木)・第3回ゴルフ部会

(エルムカントリー)

27日(金)・広報委員会(函館開催)

30日(月)・技術系学校先生との現場見学・懇談
会

8月1日(水)・社会保険未加入対策推進地方協議会

3日(金)・技術系学校学生との現場見学

6日(月)・第5回三役会議

24日(金)・第3回理事会

・平成24年度登録電気工事基幹技能者
特例講習会

(電気会館)

・第2回ボウリング部会

スガイノルベサ

9月3日(月)・1級実地受験準備講習会

(セントラル札幌北ビル)

10日(月)・第6回三役会議

12日(水)・本部245回政策委員会

(東京) 山口副会長

13日(木)・開発局営繕部と電気・空衛連絡協議
会との意見交換会

(北海道設備会館)

14日(金)・本部運営委員会(東京)

吉川支部長

19日(水)・札幌市電気設備施工研修会

北海道電気会館

21日(金)・第3回経営委員会

・第2回広報委員会

・第2回歌唱部会

28日(金)・本部運営委員会(東京)

・本部理事会(東京)

吉川支部長他

編集後記

「会報秋号」発刊にあたりまして北海道建設部建築局長の須田敏則様には我々業界に対する激励とも読み取れる巻頭言をご執筆いただきまして誠にありがとうございます。

国難ともいえる様々な状況下、我々業界に対して“悲鳴にも似た声が寄せられている”ことを御理解いただいていると思うだけでも、大変に心強いものがあり感激いたしております。

幸いにしてECO推進整備や太陽光発電、風力発電、LED照明等は我々業界にかかわるものでありますから、我々業界が率先して普及拡大を図っていかなければならないことと思っております。それには関係官庁や地方自治体との関係を密にしていかなければならない場面が多々出てくることが予想されます。我々業界の“悲鳴にも似た声”に耳を傾けていただき、今後、連携を強固なものにしていきたいものと考えております。

どうか温かい目で業界の発展をお見守りください。

広報委員長 橋本 耕二



発行 平成24年10月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp